

家族で話し合おう!



協力:千葉県西部防災センター



わが家の防災・減災

【地震への備え】

近年、日本でも世界でも大きな地震が発生しています。

Aさんのお宅では、気になりながらもできていなかった、いつ起こるかわからない地震への備えについて、家族で話し合いを始めました。



まずは地震が来た時に自分たちの身を守るための備えをしているか、家の中をチェックしてみよう!

災害発生時に身を守るための備え

- 自宅の耐震診断・補強を行っている。
- 大型家具は安全を考えて配置し、転倒防止対策をしている。
- 室内の逃げ道を確保している(通路に物を置かない)。



ベッドの近くに倒れそうな家具は置いちゃダメだね!!



みんなが外出している時間が多いから、家族が離れ離れになった時の連絡方法は必要ね!

公衆電話を使って『災害用伝言ダイヤル』に伝言を残す方法があるよ!

『災害用伝言ダイヤル 171』を利用して連絡 …災害時の安否情報がやりとりできるサービス

- 安否の伝言を録音する場合
『171 → 1 → 電話番号(自宅または自分の携帯)』 → 30秒以内に伝言を録音する
 - 安否の伝言を再生する場合
『171 → 2 → 電話番号(自宅または相手の携帯)』 → 伝言の録音内容を再生する
- ※毎月1日と15日に体験利用が可能です。

公衆電話で連絡

災害時に、携帯電話や家の電話がつながりにくい時も、公衆電話はつながりやすい仕組みになっています。停電時でも電話がかけられます。

参考資料:NTT東日本



※『災害用伝言ダイヤル』や救急車、消防車を呼ぶ『119』、警察を呼ぶ『110』などの緊急通話は無料でかけられます。

みんなの携帯番号を覚えておかなきゃね!



家族で集合場所を決めておいたほうがいいんじゃないかなあ? どこに行けばいいんだろう?

それなら避難場所や災害リスクを調べられるハザードマップがあるよ! 家の周りを見よう!



ハザードマップについて

ハザードマップは、全国の災害リスクを調べることができます。また自宅周辺の避難場所も確認できます。自宅周辺や外出先などが、どんな災害に弱いかなどを把握しておきましょう。

※自治体のホームページや国土交通省ハザードマップポータルサイトから入手できます。

自宅から避難場所までの経路をいくつか想定してみて、安全に避難できるか実際に歩いてみよう!



国土交通省
ハザードマップポータルサイト
はこちらから▶



今後はもしもの時の行動についてと食料や水の備蓄についても確認しようね!

バックナンバーを讀んでみよう!



ちばインフォメーション2024年3月4日号
◀『防災・減災 今一度、地震の備えについて考えよう』はこちらから



『千葉県西部防災センター』で防災体験!



体験ツアーは予約制です。
<https://www.chiba-bousai.jp/>

編集部が松戸市にある千葉県西部防災センターで地震の揺れや台風時の風雨の威力を体験してきました。

地震体験では揺れるとわかっていても東日本大震災のときの怖さがよみがえりました。また、体験や展示を通して、日頃の備えの大切さを実感しました。

実際に体験をすることで、家族と防災について話をするきっかけになるといいですね。

千葉県西部防災センター
についてはこちらから▶



問い合わせ

コープみらい千葉県本部 参加とネットワーク推進部 TEL 0120-925-036 9時~17時(土・日・祝日休み)